

---

# 合宿です！！全員集合！！

みさメロン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

合宿です！！全員集合！！

### 【Nコード】

N4907Z

### 【作者名】

みさメロン

### 【あらすじ】

スマブラメンバーが合宿を行います！

時には楽しみ、時には悲しみ、時にはみんなと戦い！！！！

なんと、SEGAからも合宿参加するキャラが……！！？

恋の行方は誰のもの……？そして別れるとき……。。  
スマブラの合宿の様子をご覧あれ！！！！

**合宿の始まりです！（前書き）**

初の投稿となります！！

まだまだ未熟なのですが見てくれたら幸いです！！

それでは始めます！！！！！！

## 合宿の始まりです！

ある日の事・・・

ある人物、二人が話をしていた。

？「なあ、左。またあれでもしないか？」

？「おい、右よ、どうしたんだあ？」

右「マスター 左「クレイジー

マスター「だーかーらーあれだつて」

クレイジー「…………。あああ！あれか？」

マスター「そう、あれ」

クレイジー「UNOかあ？」

マスター「……」

クレイジー「あら？違った？」

マスター「全然違うわああー！！！」

クレイジー「冗談・通じねーのかよお」

マスター「お前な……」

クレイジー「わーかってるって！あれだよな？」

マスター「……言ってみろ」



場所は変わり……………

？「兄さん、手紙が届いてるよ」

？「なんだ？手紙で喜んでのかあ？」

？「いやいや、手紙で喜んでるわけじゃ……………」

？「まあ、お前の事などどうでもええわ」

？「ひどいよ……………、兄さん……………」

自称ミスター任天堂のマリオと永遠の二番手と呼ばれるが影が薄いルイージが話をしていた。

ルイージ「作者……………、影が薄いは余計だか……………」

マリオ「だまれ、ルイージ！！出してくれるだけでありがたいと思え！特にお前は……………！」

ルイージ「作者も兄さんひどいや……………」

落ち込むルイージ（……………？）を無視し、マリオは封筒からあるものを出した。

マリオ「招待状……………ルイージお前……………」

ルイージ「どうせ僕なんか・・・、僕なんか・・・！」

マリオ「ああ、精神的ダメージが大きい・・・」

うん、あれは普通だ。大丈夫！！

マリオ「・・・。いや、あれ普通？・・・ルイージ、お前にも招待状が来てるぞ」

ルイージはマリオから自分の招待状を取った。

ルイージ「ほんとだ！！！！・・・ってこれ・・・」

マリオ「スマブラ合宿の招待状じゃないか!？」

ルイージ「ええええええ!?!?またあのおんボロの家で・・・?」

マスター「おんボロで悪いな!!！」

マリオ「えつと前に行ったのはいつだっけ?」

ルイージ「確か・・・7ヶ月前かな?Xメンバーで行ったときだよ」

マリオ「またXメンバーか?まあリストラ組はいらんけど・・・。」

リストラ組「リストラ組とかいうなあー!!！」



マリオ「ぶえくしょん！！なんかリストラ組の声が・・・？んなわけないか！」

ルイージ「兄さん、早く準備しないと！」

**合宿の始まりです！（後書き）**

いかがでしたか？短くてすみません・・・。

感想お待ちしております！どうぞ遠慮なく言ってください！

これからも見てください！よろしくです！！ みさメロン でした。

合宿へ・・・Let's GO!?(前書き)

2話目！突入！

あんまりおもしろく無いかも・・・。  
スマブラメンバー「いらん事をいうなあ!!!!」

合宿へ・・・Let's GO!?

ここは・・・？

そう、ここは・・・終点だ。

Xメンバーはもちろん全員・・・。

ん？あ、あれは・・・！！

リストラ組！！！！！！？？

リストラ組「作者もリストラ組っていうなあー！！！」

いや、だってほんとのことじゃん！！！！v ) (ニヤッ

リストラ組「うう・・・」

マスターは今回の目的を話す。

そんな説明途中で突然真っ白な光に包まれた。

全員「目がっ……!!」

光が……

消えた……。

光が消えた後、一人の少女が立っていた。

? 「痛たたたた……。あ、あれ?ここはどこ?」

? 「ここは、終点よ」

スマブラメンバーの一人の女性が答えた。

彼女の名はサムス・アラン。バウンティハンターである。(今は、ゼロスーツサムス)

? 「終点……?あれ、思い出せない……」

サムス「えっ!?記憶喪失!?!」

? 「……いえ、そうではないのですが……」

? 「あれ! ? アルルか! ?」

? 「えっ・・・? 君は・・・、ソニック・・・!! ?」

ソニック「どうしてこんなところにいるんだ?」

アルル「えっと・・・」

サムス「ちよつとまって! なんでソニックが知ってんの?」

ソニック「ああ、スマン。こいつはアルル。オレと同じSEGAなんだ」

アルル「あ・・・うん・・・」

サムス「同じSEGA・・・へえ〜。あつ、話続けて」

アルル「え・・・、はい。ソニックに用があつて家を訪ねただけど・・・。」

『スマブラ合宿があるため外出してるぜ』って書いてあつて。スマブラに参戦してるのは

聞いているんだけど・・・。スマブラの世界ってどんなのかと思つてたら突然光に包まれて

気付いたらここに・・・。」

サムス「なるほどね・・・。」

ソニック「で、オレに用事があったんだろ？なんだ、その用事って？」

アルル「……。ごめん、忘れちゃったよ」

ソニック「おいっ!!」

サムス「一応、記憶喪失ではないのね……」

アルル「えっと……ぼくこれからどうすれば……?」

サムス「マスター元の世界に送ってあげたら?」

マスター? 「嫌だ」

サムス「なんで!?!」

マスター? 「めんどいから。ってか、俺マスターじゃねーし」

全員(アルルを除く) 「えっ!?!?」

マスター? 「俺はクレイジーだっ!?!」

全員(アルルを除く) 「……」





アルル「・・・・・・・・」

アルル「ええええええええ!!??」

ソニック「それはそれでいいかもな!滅多に無いぜこんな事!!」

アルル「・・・・・・・・」

サムス「確かに、スマブラの世界を知るチャンスよ」

アルル「・・・行ってもいいんですか?」

サムス「いいんじゃない?ねえ、みんなはどう?」

と、サムスの意見に反対する者はいなかった。  
（若干いたかもしれないが・・・）

サムス「いいわよね?クレイジー?」

クレイジー「いいんじゃないか?」

サムス「なら、決まり!!」

アルル「改めまして、ぼくはアルル・ナジャ。SEGAの『ぶよぶよ』の世界から

来ました。よろしくお願いします」

全員「よろしく〜」

そうして、合宿に参加する事になったアルル。

？「(あの子、かわいいなあ〜)」

This is Marth. (こちらはマルスです。)

なぜ英語!?

アリティア王国の王子です。

マルス「(あの子も合宿するんだ……。チャンス!!)」

？「何考えてんだ、マルス？」

マルス「わっ、ア、アイク！」

アイク「変な事考えるなよ？お前、女いるじゃん……」

マルス「シーダの事？」

シーダ「タリス王国の王女、マルスの婚約者。ここでは、シーダの片思いっていう設定です。」

アイク「ああ」

マルス「別に僕が好きじゃないし……。まさか、アイクも狙ってる、あの子？」

アイク「はあ？」

マルス「はあ？じゃない!!」

アイク「女なんか興味ねえよ」

マルス「じゃあ、手出さないでよ？」

アイク「……………」

マルス「でもアイク、妹いるのに……………」

アイク「バカ!!俺はミストとシスコンじゃない!!」

マルス「そんな事は言っていないけど……………?ってか、よくシスコンの意味知ってたね!」

アイク「シスコン言うな!!」

合宿へ・・・Let's GO!?(後書き)

これで2話目も終了了!

感想、くださいー!!

どしどし指摘くださいー!!悪いところがあれば直します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4907z/>

---

合宿です！！全員集合！！

2011年12月17日23時54分発行